

会 議 録				
平成29年度第1回 認知症施策事業推進 委員会	日 時	平成29年5月25日(木) 午後7時～	場 所	小金井市 前原暫定集会施設 C会議室
事務局	小金井市福祉保健部介護福祉課			
出 席 者	委 員	竹田委員(一般社団法人小金井市医師会 竹田内科クリニック) 橋詰委員(一般社団法人東京都小金井歯科医師会 歯科診療室橋詰) 田中委員(社団法人小金井市薬剤師会 グリーンベル薬局) 菊池委員(社会福祉法人聖ヨハネ会・桜町病院認知症疾患医療センター) 川村委員(小金井市立本町高齢者在宅サービスセンター) 林委員(株式会社よつば よつば訪問看護ステーション小金井) 三井委員(介護相談室ぬくいケアプラン) 閑野委員(特別非営利活動法人ケアサポート湧)		
	事務局	増田氏小金井きた地域包括支援センター 中川氏小金井きた地域包括支援センター 杉森氏小金井ひがし地域包括支援センター 高橋氏小金井にし地域包括支援センター 黒木氏小金井みなみ地域包括支援センター 鈴木高齢福祉担当課長 福多包括支援係主任 竹宮包括支援係		
傍聴の可否	◎可・一部不可・不可	傍聴者数	0人	
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1 高齢福祉担当課長 挨拶 2 自己紹介 3 委員長選出 4 議題 (1) 平成29年度市の認知症施策について (2) 平成29年度小金井市認知症施策事業推進委員会について (3) 認知症ケアパスの内容の最終確認 (4) 認知症ケアパスの普及啓発の検討 (5) 平成29年度認知症講演会について				

5 意見交換

1 高齢福祉担当課長 挨拶

2 自己紹介

3 委員長選出

指名推薦により、全員賛同にて薬剤師会の田中委員が選出された。

4 議題

(1) 平成29年度市の認知症施策について

ア 第6期計画に認知症になっても地域で過ごし続けるために、地域全体で認知症高齢者とその家族を支援する総合的な体制をつくると記載されていることを確認。

イ 認知症サポーター養成講座や認知症講演会などの実施による認知症の理解促進についての普及。

ウ 地域包括支援センターに配置された認知症地域支援推進員を中心とした、各関係機関との連携や相談体制の充実、認知症高齢者を介護する家族の交流会

エ 認知症地域支援推進員と市では、毎月1回、連絡会を開催し、認知症施策について、検討している。

オ 認知症ケアパスは、「小金井市 認知症安心ガイドブック」と名づけられて、本年度、印刷される。

(2) 平成29年度小金井市認知症施策事業推進委員会について

別紙資料1「委員会の開催目的」参照

(3) 認知症ケアパスの内容の最終確認

ア 最新のガイドブックに、ページ数を入れる。表紙が1、開いて2、3、さらに開いた、左から4、5、6、7、裏表紙8と入れる。

イ 東京都の「知って安心認知症」から抜粋している部分については、文章の変更が出来ないことが条件にあるため、以下のように修正している。

(ア) 3ページの「**■**認知症は早期発見が大事！」は、「**■**認知症は早期発見が大事！」

(イ) 「早期発見が大切な理由」は2つにまとめて「今後の生活の準備をすることができます」「治療すれば改善可能なものや、進行を遅らせることができ

る場合があります」

(ウ) 3ページの上のグラフの、東京都の「薬を使用した場合」を「治療した場合」とし、グラフの矢印をとる。

(エ) 8ページの地図の包括支援センター、「にし、きた、みなみ、ひがし」のフォントを大きくする。

(オ) 差込みの「■自分でできる認知症の気づきチェックリスト」も東京都抜粋のため、「20点以上の場合、認知機能や社会生活に支障が出ている可能性があります。8ページ以降で紹介している、お近くの医療機関や相談機関に相談してみましよう」と修正する。

(カ) 差込みの「■関連機関情報」の小金井市内の専門医療機関に、小金井メディカルクリニックが追加されている。

専門医療機関に定義について質問：一番最初にできた5年くらい前の条件として、市より、CTあるいはMRIがある、専門医がいる鑑別診断など、専門医がいるところと回答。

(キ) レイアウトについて

- ・ 差込みの認知症高齢者を支える家族の会の開催時間13時から15時を13時30分から15時に訂正。小金井市「認知症家族の集い」の問い合わせ先施設名を入れたほうが良い。

(ク) 配色について

- ・ 差込みのタイトルのオレンジは、お年寄りには見えにくいので、黒が良い。
- ・ 老年期の方は、青系は見えにくく、暖色系は見えにくくなりにくいといわれている。4・5ページの水色のベースに黒、紫色のベースに黒の文字は見えにくいと思う。出来れば、水色・青色系は、使わない。

差込みの関係機関情報の2色刷り（薄黄色と白色）は、薄黄色が薄い。

→配色については、意見を参考に事務局のワーキンググループで検討し、業者と相談して決定する事で、全員の同意を得た。

ウ 印刷部数及び各関係機関の配布見込みの確認。平成28年度認知症ケアパス検討委員会会議録参照。

(4) 認知症ケアパスの普及啓発の検討

各委員、「認知症 安心ガイドブック」普及啓発についての内容について発表する。

→内容については、別紙資料2参照

(川村委員)

月に1回開催している家族会で使用する。目標は、介護サービスや医療につながら

ない方たちや、本町センターは、認知症デイサービスと一般のデイサービスがあり、ともに相談員がいるので、相談時に利用する。

(林委員)

目標は、地域の認知症安心ガイドブックを知ってもらうこと。認知症の方だけではなく、小金井市の目標でもある地域で安心して暮らせることを目指したい。対象は小学生からお年寄りまで知っていただきたい。認知症の早期発見と、関係機関につなぎやすい一般の方が分かりやすいガイドブックにしたい。

(今井委員)

欠席のため、事務局から代読。内容詳細については、別紙資料2参照。

<市の普及啓発の計画について質問>

ガイドブックの印刷をすることと、ホームページへの掲載をすること。

- ・認知症の施策に限らず、その他の市の事業での配布と周知をする。

その中で、この内容を見た市民の方々に市の事業を紹介できるきっかけにしたい。

また、質問等により、周知や内容の評価もできると考えている。

<ガイドブックの配布時の補充についての質問>

- ・今年度の見込みの1万5,000部は、十分な数と見込んでいるが、万一少なくなった場合の補充等は、検討する。

<今後の増刷についての質問>

- ・完成が7月ぐらいなので、本年度は、まず1万5,000部から各団体に配布する。次回の委員会で、利用後の評価修正点等の検討をする。

<紙質・単価について質問>

- ・再生マットコート紙を使用。
- ・単価については、予算計上は70円くらい。それよりは、安くなっている。

<今後の流れについて>

- ・各自計画書に沿って、認知症安心ガイドブックを实际利用し、別紙の評価表へ記入後、11月頃に市に御提出いただく。提出された評価表を、市でまとめ、次回委員会の前に各委員に送付し、第2回認知症施策事業推進委員会で検討する。

(5) 平成29年度認知症講演会について

午前に認知症フォーラム、午後に認知症講演会を開催する。フォーラムでは、短時間での認知症についての講座と、介護専門職と、認知症の方の御家族、介護をされている方にお話をさせていただき予定。講演会では、認知症当事者の方にお話をいただき、もう1名講師の方をお招きして、対談していただく予定。

日にち：9月15日（金）、会場は宮地楽器ホール 小ホール。当事者と講師
については、現在調整している。内容が決まり次第、早めに周知していく予定。

<昨年度の参加人数について質問>

- ・午前中のフォーラムは、30名くらい、午後の講演会は90名くらい。

次回 1月か2月ごろ予定 （2～3カ月前に、メールで日程調整する）